



賞状を手にする池田さん

輝いています

全国少年少女カヌー大会 入賞

ひと

いけだ あや の
池田 彩乃 さん

悔しさを推進力に全国大会入賞

パドルを使って船を操り、技術や速さを競うカヌー競技。今年7月、オリンピック選手も輩出するなど、同競技の登竜門ともいわれる「全国少年少女カヌー大会」の女子フラットスラローム部門で5位入賞に輝いたのは、中央東小学校6年生の池田彩乃さん（11歳・中央6丁目）です。弟思いの優しい性格で、読書好きな一見普通の小学生。そんな池田さんがカヌーと出会ったのは2年前のことです。外出時に見かけた戸田ドルフィンカヌースポーツ少年団の体験会で競技用カヌーに試乗すると、「スピードが出て、楽しい」と、入団。週末には活動場所の戸田ボートコースで

カヌーに乗り込み、持ちまへのバランス感覚の良さを生かして、効率的なカヌーの操り方やコース取りを強く意識しながら、腕を磨いてきました。そうして臨んだ昨年の大会では、予選を突破するも決勝では、惜しくも入賞圏外の8位。「来年こそはもっと良い成績を」と、悔しさとともに決意を抱く結果となりました。

山梨県の精進湖で行われた今年の大会には、全国から200人以上の小学生が参加。出場したフラットスラローム部門は、水上の約80メートルにわたって設置された8個のブイの周りを、ゴールまで指示通りに回りタイムを競います。日頃の練習に加え、昨年の大会で敗因となった筋力不足を補うため、大会に向けて半年以上、朝晩のトレーニングを欠かさなかった池田さん。迎えた本番では、1秒未満のタイム差で明暗を分ける接戦のなか、努力の成果も実り、目標だった入賞を果たしました。小学校卒業を目前に控えた池田さんの将来の夢は、作家など感動や希望を与えられる人になることです。これからは培った舵取りのセンスと大舞台での経験を糧に、力強く未来へと漕ぎ出していきます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.18 —



暁斎筆「大江山鬼退治之図」

絹本着色 軸装

大江山の鬼退治の物語を描いた掛軸。大江山の鬼とは京都の近くにある大江山に住む酒顛童子（酒呑童子）の夜の姿で、京の都で姫君や財宝を奪っては鉄の御所へ戻り、酒宴を開いていました。その悪行に、帝が源頼光とその家臣の四天王（渡辺綱、坂田金時、卜部季武、碓井貞光）、そして平井保昌を鬼退治に向かわせます。本図は、

酒顛童子の首をはね、今しも大きな鬼の首が源頼光に向かって飛びかかってくる場面を暁斎が描いたもので、小さいながら迫力ある作品です。



現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎

天保2年(1831)
～明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 11月1日(水)～12月23日(土・祝)

「暁斎が描く異形のものたち」展
同時開催「英国の子供たちの見た暁斎」展

開館＝午前10時～午後4時
休館＝木曜日 毎月26日～末日、年末年始
ところ＝南町4-36-4
入館料＝一般600円 中学生～大学生500円
小学生以下300円
(20人以上の団体は要予約)
詳細＝同館 ☎441・9780



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください